

くらしの相談センター 多摩 ニュース NO. 11

寒さがきびしい日々が続いています。インフルエンザの流行が心配されているこの頃です。体調に気をつけたいですね。「くらしの相談センター」には心が温くなる様なでき事がありました。寒い日々、心の温かさを大切にしたいと思います。



相談事例 くその⑥ ＊＊＊誰でも入れる認可保育園を沢山！＊＊＊

年末にSさんのご主人が大阪に転勤。多摩区のお母さんの住む実家に戻ってこられたSさんがお子さんの保育園入園に関して、お母さんと子どもさんと一緒に相談に見えました。

Sさんは2月1日より復職予定ですが、お子さんが保育園に入れないと解雇されるという切羽詰まった状況でした。

所長の井口議員も同席で、「まず保育園の入園申し込みをしましょう」と……。Sさんはすでにインターネットから所定の用紙をダウンロード、就労証明書も準備されていました。

入園希望場所は3か所欄がありますが、「すべて書いてください。空欄があると、希望の切実さがないように受け取られる可能性があります。」と手際よく議員が伝えていました。議員はその場で担当部署に電話、2月からの中途入園の可能性などについて、聞きました。

当然のことでしょうが、中途入園などは無理。井口議員は無認可ですが、保育施設を紹介、電話で連絡を取り、その日のうちに面談できることになりました。

その後、Sさんから、その保育施設で受け入れてもらえることになり、2月の復職は可能となった旨、報告がありました。

未来の日本を背負って立つ子どもたちが健やかに、元気いっぱい育てられる充実した保育園がたくさん増えるよう特に川崎市は政令市ワースト1の3600人を超える待機児がいますので働きかける運動の必要性を感じました。また、現状では無認可の保育園も紹介できる相談センターも目指したいものです。

(くらしの相談センター
副所長 中村 孝)



2月の専門家による相談予定

- * 法律相談 —— 川崎北合同事務所内田弁護士
(毎月第3火曜日) 2月15日・要予約・
時間が限られています。相談内容の要点を
まとめてください。
- * 育児相談 —— 稲田助産院藤井よし江助産師
(毎月第1火曜日・午前中)・要予約
- * 税金・相続・登記・医療・福祉・介護・年金・
教育・住宅・ペットの相談
◎専門家が随時対応します。電話で要予約◎
- * よろず相談・・・所長井口まみ市会議員が
すばやく相談に応じます。

月曜日～金曜日・・・時間については電話でご予約
ください。

休み・・・土・日曜・祝日・お盆・年末年始
電話・・・044-949-6674



所長の視点

☆☆☆「あきらめないで」☆☆☆



昨年まだセミが鳴いているころ、センターに菅仙谷のHさんから「うちのまわり3軒だけ下水がつながっていない。何度か市に行ったが『予算がない』と断られている」という相談が入りました。さっそく相談を受けたNさんと現地に行ってHさんたち3軒の方に会い、実態を見て、それを上下水道局に伝えました。担当者がすぐ現地に行って調査をしました。

ここは本管の入っている公道よりも下に宅地があり、それにつながるのには難しそうで、側溝は宅地の下にある斜面に流していますが、その先に本管がないので流せない。とても困難だということが分かり

ました。でもわたしもがんばって、さらに詳しく調べてもらったら、なんとか上の公道の本管につながるができることが分かり、Hさんには「必ず整備します」と約束してくれました。が、予算がつくかどうかで問題で、「2012年度になるかもしれない」とのこと。そこで議会で取り上げたら、「2011年度実施設計を行って着工する」という答弁があり、なんと今年実現することになりました。

菅北浦では、雨が降るとすぐに側溝があふれ、家の前が水浸しになる、1階の駐車場に水が流れ込んでくるという地域があります。4年前に議会で取り上げましたが、ここもなんだか難しくてちっとも進まないため、人事異動で担当者が変わるたびに訴えに行き、解決を迫ってきました。2010年ようやく水路の拡幅工事が始まりました。

市長の「行財政改革」という名の市民予算切り捨てで、たしかに生活道路とか水路、下水などの補修費はどんどん減っています。だから役所に相談に行っても、すぐ「予算がない」と言って終わりにされてしまいますが、それであきらめてはだめなのです。困っているのは市民です。市民の生活をよくするのが自治体の仕事、私たちはそのために税金を払っているのですから、困ったら『くらしの相談センター多摩』にご相談ください。一緒に解決しましょう。

『くらしの相談センター多摩』からのお願い

…賛助会員へのお誘い…

忘れもしない2010年4月11日(土)・中野島会館で70名のみなさんの参加で「開設の会」を持ち、はや10ヶ月が経ちました。

ご存じの様に「くらしの相談センター」の運営は賛助会員により支えられています。毎月の運営委員会では会員数を確認し、より多くの人に賛助会員になってもらい、相談活動が順調に進められるようお願いしている所です。賛助会員が当面200人いると維持運営も安心できます。けれども現状は110人の賛助会員です。これまで相談に来られた人は80人を越えました。この社会状況では、「くらしの相談センター多摩」の役割はこれからも必要と思います。

ぜひ賛助会員になっていただき、共により良い未来を目指しましょう。また、現在賛助会員の方には引き続き継続をよろしくお願ひいたします。みなさんの周りの人にもお声をかけてください。

12月の 相談状況

● 寄せられた件数
6件

● 4月からの件数
82件

